

F002		くすりの発展と現代医療における漢方薬	
英名科目名	Development of medicines, and Kampo medicines in current medicine		
大学名	京都薬科大学		
連絡先	教務課 TEL:075-595-4613 FAX:075-595-4792		
担当教員	松田 久司 (京都薬科大学 非常勤講師)		
開講期間	2021年09月25日(土)～2022年01月15日(土) 2講時 10時50分～12時20分(毎週土曜日)		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	土曜日 2講時
単位数	2	履修年次	1年次以上
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	45		
単位互換生定員	40	京カレッジ生定員	5
試験・評価方法	レポート提出 (100%)		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	20,000円		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>人類は、痛みや病を癒すためにいつしか動植物や鉱物などを薬として用いることを覚えるようになったと言われています。すなわち、試行錯誤を繰り返しながら、痛みや病を癒すために有用な植物、動物、鉱物が選択され、伝承されて、今日の生薬（しょうやく）となっています。生薬は、生活や現代医療のなかでも、香辛料、胃腸薬や漢方薬の原料として欠かせないものであり、生薬に含まれる有効成分をもとに数多くの医薬品が開発されてきました。本講義では、薬（くすり）の発見と発展、代表的な生薬・薬用植物について説明するとともに、現代医療における漢方薬の役割や使い方について概説します。</p>			
講義スケジュール			
第01回 くすりの発見と欧州における発展 第02回 くすりの発見とセレンディピティ 第03回 中国・日本におけるくすりの発展 第04回 身近にある薬用植物 第05回 知っておきたい生薬・薬用植物 (1) 第06回 知っておきたい生薬・薬用植物 (2) 第07回 知っておきたい生薬・薬用植物 (3) 第08回 毒薬もくすりになる 第09回 漢方の考え方、基礎知識 (1) 第10回 漢方の考え方、基礎知識 (2) 第11回 知っておきたい漢方薬 (1) 第12回 知っておきたい漢方薬 (2) 第13回 知っておきたい漢方薬 (3) 第14回 漢方薬の現代科学的解明 第15回 まとめ			
教科書	プリント配布		
参考書			